

達成度：H25.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

健康福祉課の目標（平成 24 年度）自己評価書

健康福祉課長 仲田 義秀

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 第 3 期酒々井町障害福祉計画の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同計画(計画期間 平成 24 年度～平成 26 年度)を着実に推進し、障害者の福祉を推進します。 	4	<p>1 地域自立支援協議会の活動を積極的に推進した結果、障害者の地域での生活支援施策の充実につながったものと考えます。</p> <p>相談件数(延べ) 8 4 2 回 実人員 2 1 7 人 (身体障害 1 6 人、知的障害 2 1 人、精神障害 1 1 6 人、発達障害 1 9 人、その他 4 5 人)</p>
<p>2 民生委員及び児童委員の活動支援(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進において、民生委員及び児童委員は中心的な担い手として、以前にも増してその役割が期待されていることから、その活動を支援します。 ・具体的には、8 月を除く毎月第三水曜日に定例会を開催し、事例研究に積極的に取り組みます。 <p>また、県民児協の研修会等に参加し、相談技法等の向上に努めます。</p>	5	<p>2 8 月を除く毎月第三水曜日に定例会を開催し、事例研究や活動記録記載講習会を行いました。</p> <p>また、県民児協主催の研修会に積極的に参加し相談技法等の向上に努めました。</p>
<p>3 地域福祉計画の策定(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度中に社会福祉協議会と連携し、地域福祉計画を策定し、地域福祉を推進します。 	5	<p>3 社会福祉協議会と連携し、地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました。</p>

<p>4 「もしも・・・」の時の安全安心の確保(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療情報キットの配付と家具転倒防止器具取付費補助金の交付を今年度から実施し、「もしも・・・」の時の高齢者等の安全確保を推進します。 <p>5 第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の推進(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同計画(計画期間 平成24年度～平成26年度)を着実に推進し、高齢者の福祉を推進します。 <p>6 地域支援事業の推進(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、包括的支援事業を推進する上では、地域包括支援センターを核に、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えています。 ・介護予防事業では、元気な高齢者の社会参加を促し、介護予防につなげるとともに地域を活性化させることを狙いに、「介護支援ボランティア制度」を創設します。 <p>7 介護保険事業の確実な取り組み(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護等認定事業及び給付事業を確実に行います。 ・とりわけ、末期がん患者が病院を退院して自宅で療養することとなった場合、すみやかに、かつ円滑な介護サービスの利用につながるよう、すばやい認定に努めます。 	<p>5</p> <p>4 救急医療情報キットの配付と家具転倒防止器具取付費補助金の交付制度を創設しました。</p> <p>救急医療情報キット：183件 家具転倒防止取付費補助金：1件</p> <p>5</p> <p>5 同計画に基づき、事業を実施した結果、介護保険の給付費については、施設サービス給付費356,933千円(前年度比7.9%増)、居宅サービス給付費457,379千円(前年度比1.7%増)となりました。給付費の増加には様々な要因がありますが、計画の推計内で適切に事業の実施が図られたものと考えます。</p> <p>5</p> <p>6 相談件数459件、介護予防契約延べ1,407人、包括日より発行4回、このほか、介護予防サークル「月曜会」を39回開催し、延べ651人が参加しました。また、必要に応じて、随時見守り訪問を実施しました。その結果、高齢者の日常生活をサポートできたものと考えます。</p> <p>また、介護支援ボランティア検討委員会を設置し、介護支援ボランティア制度実施要綱を制定、制度開始のための基盤を整備しました。</p> <p>5</p> <p>7 介護認定審査会を月2回開催し、要介護度判定を行った結果、認定結果は588件となり、適切なサービスの提供につなげることができました。</p> <p>末期がん患者については、すみやかに認定し、適切なサービスの提供につなげました。</p>
---	--

<p>8 介護予防・日常生活支援総合事業の実施（介護保険班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度より創設された「介護予防・日常生活総合支援事業」は、任意事業であり、地域の実情に応じて市町村判断で実施する事業ですが、平成 27 年度以降に高齢化のピークに突入することが予想されることから、住民のニーズの把握に努め、実施の有無について積極的に検討します。 <p>9 母子保健事業の充実（地域保健班）</p> <p>(1) ことばの教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばの発達に不安のある年中、年長児に対し、専門指導員による相談を行うことにより不安等の軽減を図るとともに、健やかな発達を促し就学につなげます。 <p>(2) 親子ピカピカはみがき教室</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの方に教室へ参加していただけるように、ポスターの掲示場所を増やす等周知に努めます。また、むし歯予防について、ブラッシングやかかりつけ医により健診、フッ化物の使用等について健診等も利用し、広く周知を図っていきます。 <p>(3) 3 歳児健康診査の受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 本健康診査は、発育期の幼児の健康状態や母親等の育児不安を取り除くことを目的としており、就学前の最後の健康診査であるため、継続して受診率の向上を図り、病気や障害の早期発見に努めます。 <p>(4) 不育症治療費用の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> 不育症の治療を受けている方に費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減します。 	<p>3</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>3</p>	<p>8 地域包括支援センターを中心に、総合相談事業や介護予防事業及び地域におけるネットワークの構築を図るなかで、平成 27 年度からスタートする第 6 期計画の策定を念頭において地域の課題や住民のニーズの把握に努めました。</p> <p>9</p> <p>(1) 2 2 回開催 参加人数 実 16 人 延べ 101 人 就学となるお子さんに関しては学校へ引き継ぎました</p> <p>(2) 親子ピカピカはみがき教室</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシの配布箇所を増やした結果、例年に比べ微増となりました。申し込み 62 人 参加者数 58 人 (参加者数 H22 年度 52 人、H23 年度 55 人) <p>(3) 3 歳児健康診査 受診率 平成 23 年度 91.7%、平成 24 年度 79.9% 未受診者に対して、ハガキや電話にて受診勧奨を行ったが、体調不良等のため欠席が多く、その結果、受診率は低下してしまいました。次年度も受診勧奨を行っていくとともに、未受診者の把握に努めていきます。</p> <p>(4) 申請者はありませんでした。 相談等が 2 件ありました。 引き続き事業について啓発していきます。</p>
--	---	--

<p>11 予防接種事業の推進（地域保健班）</p> <p>(1)ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防接種について、対象者へのPRを行い、接種率を高めめます。</p> <p>(2)麻しん風しん混合予防接種をこれまで一度も受けたことがない未接種者への接種勧奨に努めます。</p>	<p>3</p> <p>3</p>	<p>11</p> <p>(1)ヒブ 対象者783人 接種者延べ481人 小児用肺炎球菌 対象者783人 接種者延べ508人 子宮頸がん 対象者402人 接種者延べ244人 定期接種化となるため、より一層の接種勧奨に努めていきます。</p> <p>(2)接種者数 未接種者8人に対し、個別通知による勧奨を行ったが4人と少ない結果となりました。</p>
<p>12 健康づくり施策（増進事業）の推進（地域保健班）</p> <p>(1) がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年層のがん検診の受診率の向上のために、乳がん、子宮がん、大腸がんの無料検診を年齢別に継続して実施します。また、今年度は子宮がん検診の20歳の対象者に対して検診のお知らせを送付し、受診勧奨をすることでさらに受診率の向上に努めます。 <p>乳がん検診 平成22年度21.1% 平成23年度19.9% 子宮がん検診 平成22年度22.4% 平成23年度22.4% 大腸がん検診 平成22年度21.3% 平成23年度27.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> また、結核・肺がん、大腸がん、胃がん検診の実施をチラシの全戸配布、広報および区切り年齢の方に個別通知を行うことでさらなる周知を図ります。 <p>(2) 健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康教育として行っている糖尿病予防教室の周知を図り、住民自ら生活習慣病に関心を持ち健康管理ができるよう促します。 	<p>3</p> <p>5</p>	<p>12</p> <p>(1)がん検診推進事業対象者へ、乳がん、子宮がん、大腸がんの無料検診を実施しました。</p> <p>また、子宮がん検診について、20歳の対象者に対し、お知らせを送付し、受診率がH23年度7.6%からH24年度15.0%に増加しました。</p> <p>乳がん検診 受診率20.6% 子宮がん検診 受診率22.6% 大腸がん検診 受診率29.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核・肺がん、胃がん検診について、チラシの全戸配布等を実施した結果、受診率も増加しています。 <p>(2)糖尿病予防教室 3回実施 参加者数 実19人 延べ44人</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自教室内で、目標を立てグループごとに発表することで、継続的に健康管理ができるようにしました。

<p>13 特定健康診査・特定保健指導（地域保健班）</p> <p>保健指導利用者が継続的に実施できる運動教室の回数を2回から3回に増やし、腹囲・体重の減少率(昨年度 88.7%)向上を目指します。平成 24 年度目標値 90%</p> <p>要指導の方にも結果説明会を実施し、またメタボリックシンドロームのポピュレーションアプローチとしての継続的な教室の開催を通して、予防に努めます。</p>	<p>3</p>	<p>13・運動教室(特定保健指導)全8回×2</p> <p>参加者数 実 43 人 延 271 人 体重・腹囲の減少率 83.1%</p> <p>・運動教室(ポピュレーションアプローチ)全5回</p> <p>参加者数 実 22 人 延 91 人</p> <p>・結果説明会 6 回 参加者数 163 人(参加率 49.7%)</p> <p>教室、説明会の回数を増やしたことで参加しやすくなり、多くの参加者に対し、予防のための知識普及および啓発をすることができました。</p>
<p>14 介護予防事業の推進（健康づくり推進班）</p> <p>(1) 出前健康講座</p> <p>・本講座は、地域へ講座を出前し、身近な所でも健康教育が受けられるようにし、高齢期においても地域で元気に生活できるように努めます。</p> <p>(2) 介護予防事業の開催</p> <p>高齢者の興味を引くような講座を開催し、参加者を増やすとともに介護保険との関わりを説明することにより一層の意識の向上を目指します。</p>	<p>3</p> <p>4</p>	<p>14</p> <p>(1) 出前健康講座</p> <p>2回実施 延べ 30人</p> <p>・健康推進員の協力を得て実施しました。</p> <p>(2) 介護予防事業</p> <p>介護予防のためのチェックリストを実施し、併せて二次予防事業対象者に対しては、説明会を開催し、介護保険についての知識の啓発向上を図りました。</p>
<p>15 食育の推進（健康づくり推進班）</p> <p>家庭での健康づくりのための食育を推進するため、旬の産物や郷土の味を取り入れて健康推進員と協働で親子ヘルシー教室を、また家庭教育学級と連携し食育講習会を実施します。また、食育絵本「おいしいね」を活用した拡大パネルを使い、各種教室や幼児健診において「親から子へ伝える食育」を周知していきます。</p>	<p>4</p>	<p>15</p> <p>・家庭での子供の健康づくりのための食育を重点的に実施しました。</p> <p>親子ヘルシー教室</p> <p>2回実施 参加者数 小学生30人 親9人</p> <p>食育講習会</p> <p>4回実施 参加者数 70人</p> <p>親子ふれあい旬の食育教室</p> <p>1回実施 参加者数19人</p>

<p>16 小児生活習慣病の予防（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が生活習慣病について知り、自ら予防することができるように、小学校 5 年生を対象に、小児生活習慣病予防検診、事後指導として「いきいきすいっこ教室」を開催します。（5 カ年計画の最終年）また、学校と連携し事後指導の内容の充実について、今後の取り組みについて検討していきます。 <p>17 歯と口腔の健康づくり推進条例（仮）の策定（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯と口腔の健康は、生涯を通じて自分の歯でしっかりと噛んで食べるだけでなく、生活習慣病の予防など全身の健康を保持するための重要な要素となっています。このたび、「歯科保健の推進にかかる法律」や「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」が施行されたことを受け、関係機関や関係職種と連携し、「酒々井町歯と口腔の健康づくり推進条例（仮）」を策定し、歯と口腔の健康づくりを推進していきます。 	<p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>16 小児生活習慣病予防健診 180 人 （平成 20 年度より 5 カ年 述べ 810 人） 講義の内容を協議し、学校医（前田医師、市村医師）による講義、健康推進員による寸劇等を実施しました。 養護教諭と協議の結果、平成 25 年度からは、生活習慣に対する講義の内容により専門職を講師に招くなど内容を充実させ、小学校 5 年生を対象に実施していきます。</p> <p>17 関係者による検討委員会を開催し、平成 24 年 12 月『酒々井町民の歯と口腔の健康づくり推進条例』が制定しました。今後、条例に基づき、策定委員会を設置し基本計画の策定に取り組み、歯と口腔の健康づくりを推進していきます。</p> <p>1 町で情報を持つ 75 歳以上の高齢者単身世帯及び 75 歳以上の高齢者だけの世帯で、一方が介護認定を受けている世帯に対し民生児童委員の協力を得て、訪問により、災害時要援護者名簿登録制度への登録を図り、2 5 6 人の登録がありました。自治会との連携が今後の課題となります。</p> <p>2 平成 2 4 年度における特別養護老人ホーム エコトピア酒々井の増築事業は年度内に完了し、完成した新館の</p>
<p>チャレンジ目標</p> <p>【福祉班】</p> <p>1 支え合いで助けあう仕組みの推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難支援や日頃からの見守り等の地域の中で助けあう体制づくりを自治会等の連携により推進します。 ・具体的には、町で情報を持つ 75 歳以上の高齢者単身世帯及び 75 歳以上の高齢者だけの世帯で、一方が介護認定を受けている世帯に対し民生児童委員の協力を得て、訪問により、災害時要援護者名簿登録制度への登録を図ります。 <p>また、新規対象者には、町職員が訪問し加入を促進します。</p> <p>【介護保険班】</p> <p>2 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での先進事業の取り組み</p>		

<p>・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の増築に際し、地域住民と施設内高齢者・職員との交流の場などの福祉関連の活用を図ることはもとより、広範な町民に公共的施設として活用していただくことにより、町民と社会福祉施設との間にネットワークを構築するフロント施設とするほか、大規模震災等の災害時要援護者の一時的な避難施設として活用するため、建物内に「交流スペース」の設置について、社会福祉法人と連携してその実現に取り組みます。</p> <p>【地域保健班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度から平成 24 年度の 5 年間の期限付きで行っている、麻しん・風しんの 2 回目接種（中学 1 年生と高校 3 年生を対象）の接種勧奨及び、今までに 1 度も接種したことがない未接種者への接種勧奨することにより麻しんの蔓延防止に努めます。 ・国が目標とするがん検診受診率 50% に近づけるため広報紙、回覧等により住民への周知、啓発に努めます。また、乳がん検診・子宮がん検診・大腸がん検診の年齢該当者に無料クーポン券を配布し受診率の向上を図ります。 <p>【健康づくり推進班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室、ヘルスアップセミナーなどを開催し健康教育を進めます。また、地区に出向き健康相談を行い個々の健康意識を向上させます。 ・介護予防教室では、自治体・各種サークル・健康推進員に働きかけ出前講座を開催し高齢期に必要な情報を提供していきます。 	<p>4</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>5</p>	<p>一部として地域交流スペースが設けられ、今後、住民と施設内高齢者等との交流の場となるほか、災害時の避難場所としても活用できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別通知を 3 回行い接種勧奨に努めました。 <table border="0"> <tr> <td>接種率</td> <td>中学 1 年生</td> <td>81.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高校 3 年生</td> <td>74.4%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・無料クーポン受診率 <table border="0"> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>19.3%</td> </tr> </table> <p>子宮がん、大腸がんについては受診率の向上に繋がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室 3 回 延べ 44 人 <p>参加者個人に健康意識を向上させるように努めました。</p> <table border="0"> <tr> <td>ヘルスアップセミナー</td> <td>10 回</td> <td>延べ 146 人</td> </tr> </table> <p>回数を増やし内容を充実させました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座 中川 15 人 東酒々井 6 丁目 20 人 <p>健康相談と同時に高齢期の栄養について指導を行いました。</p>	接種率	中学 1 年生	81.6%		高校 3 年生	74.4%	乳がん検診	25%	子宮がん	24.5%	大腸がん	19.3%	ヘルスアップセミナー	10 回	延べ 146 人
接種率	中学 1 年生	81.6%															
	高校 3 年生	74.4%															
乳がん検診	25%																
子宮がん	24.5%																
大腸がん	19.3%																
ヘルスアップセミナー	10 回	延べ 146 人															